

NEANET・OOA新研究会 新型コロナ収束 と“観光立国ニッポン”

鈴木 勝

大阪観光大学名誉教授
(元・桜美林大学教授)

北東アジア輸送回廊ネットワーク(NEANET)理事
OOA新研究会会員¹

<目次>

1. はじめに

2. “観光立国ニッポン” への道(2003年～2019年)

・インバウンド「躍進と課題」

3. 新型コロナ大打撃の“観光立国ニッポン”

- ・「ウイズコロナ」と「ポストコロナ」&国内と国際
- ・働き方改革でライフスタイル変化: 休暇の変化(ワーケーションetc.)
- ・「旅行」変化: 「団体⇒FIT(個人)」 「都会派⇒自然・地域・滞在派」

4. 復活シナリオ

- 1) 「観光復活ステージ」(都道府県)内⇒隣県など地域内⇒日本全域
 - ・「GO TO トラベル」キャンペーンの効用
 - ・地域観光振興⇒DMO(“稼ぐ力を持つ”観光地経営組織)&観光プロ
- 2) 「国際観光復活ステージ」インバウンド&日本人海外旅行
 - ・世界の感染状況&陰性証明・PCRや入国者隔離⇒双方の準備
 - ・インバウンド(トップ国⇒後続国)・ビジネス要人/留学生/観光客
 - ・日本人海外旅行デスティネーション

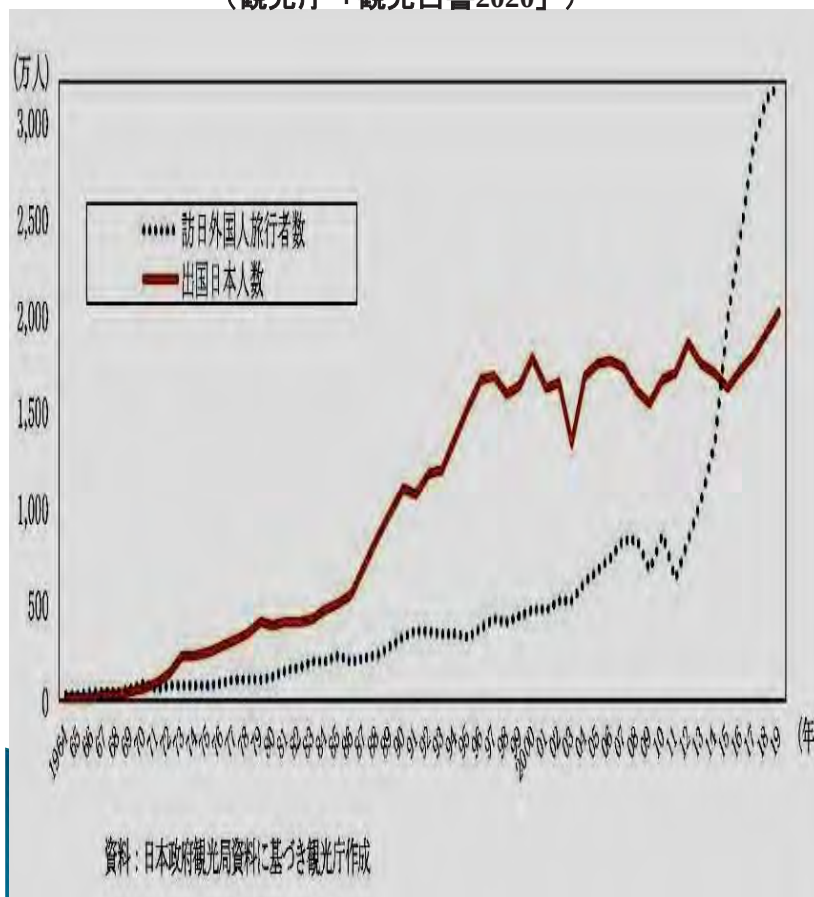
3) ウイズコロナ期の「再起策あれこれ」

5. 結び～ポスト・コロナ時代の“健全な観光立国ニッポン”～

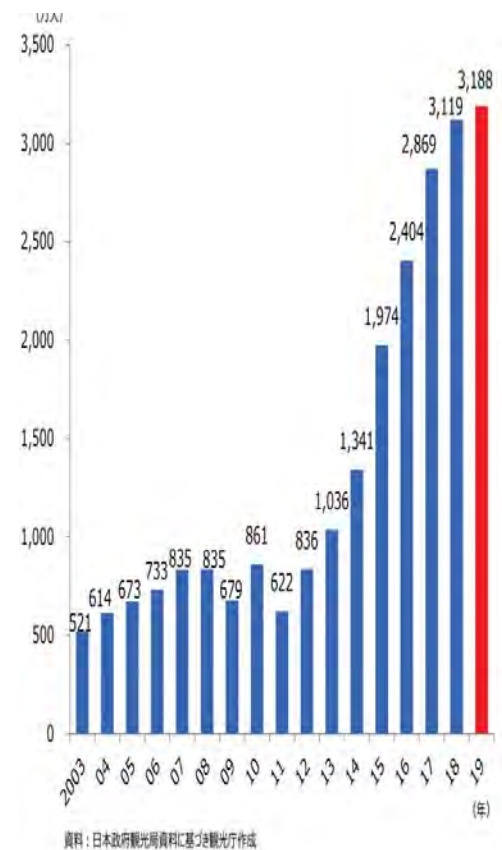
(WEEKLY「週刊農林」: 巻頭言2020年7月25日～3回)
(MONTHLY月刊誌「公明」2020年10月号)

(f) Forecast

「訪日外国人旅行者数と出国日本人数の推移」 (観光庁「観光白書2020」)



訪日外国人旅行者数の推移 (観光庁「観光白書2020」)

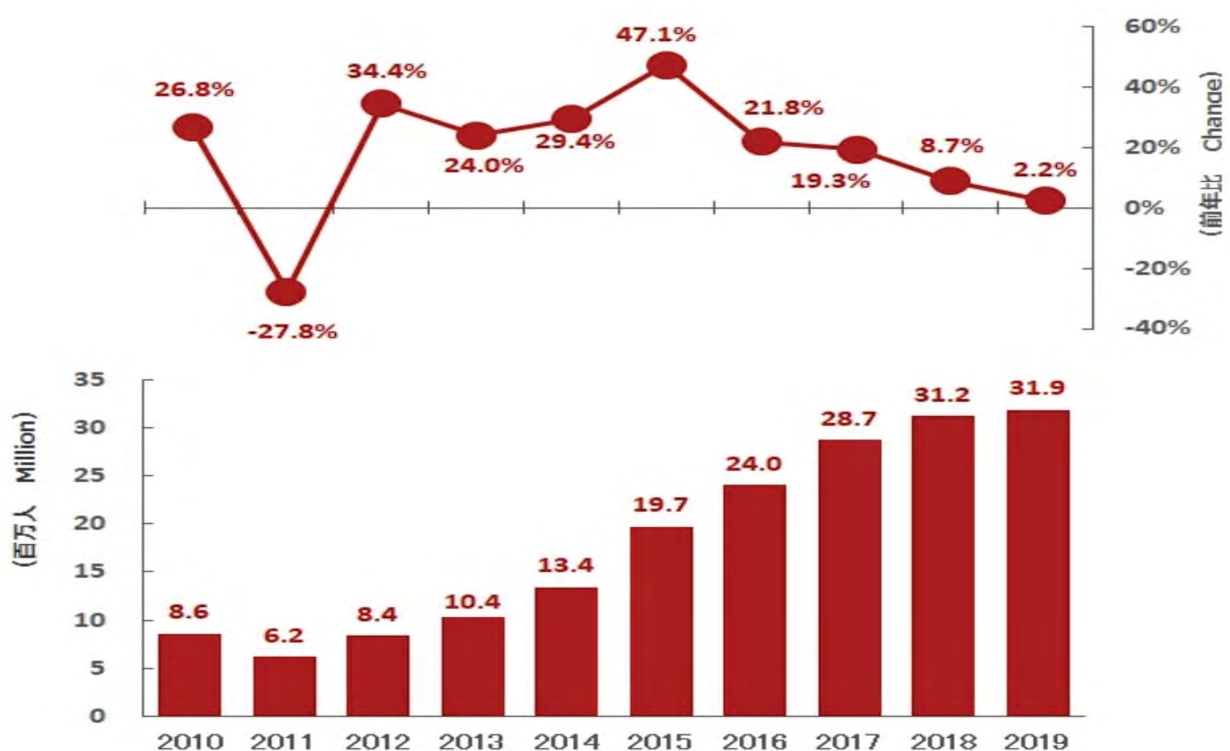


訪日外国人数 直近10年間 2019年版

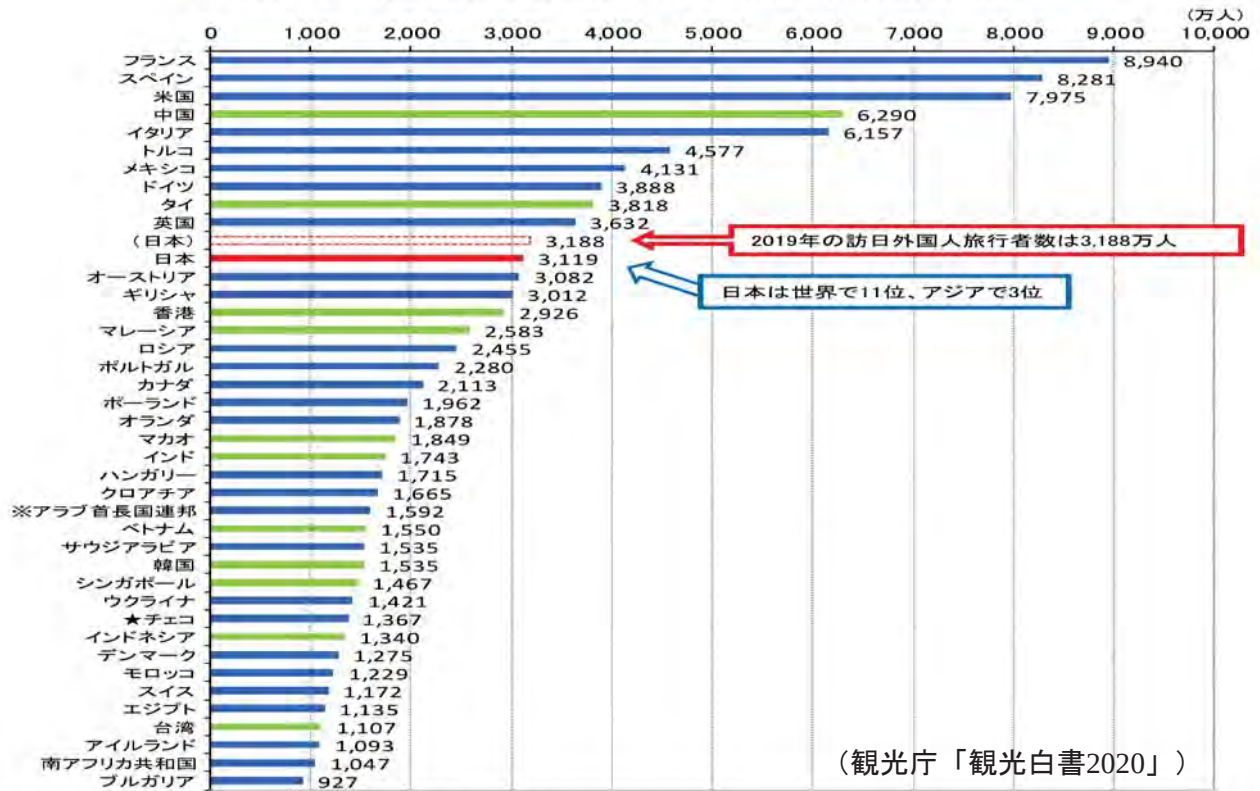
Visitor Arrivals to Japan for last 10 years — 2019

TRAVEL
VOICE

www.TravelVoice.jp



図表 I - 6 外国人旅行者受入数ランキング (2018 年 (平成 30 年))



資料：UNWTO (国連世界観光機関) 資料に基づき観光庁作成

注1：本表の数値は2020年(令和2年)5月時点の暫定値である。

注2：★印を付した国は、2018年(平成30年)の数値が未発表であるため、2017年(平成29年)の数値を採用した。

注3：アラブ首長国連邦は、ドバイのみの数値である。

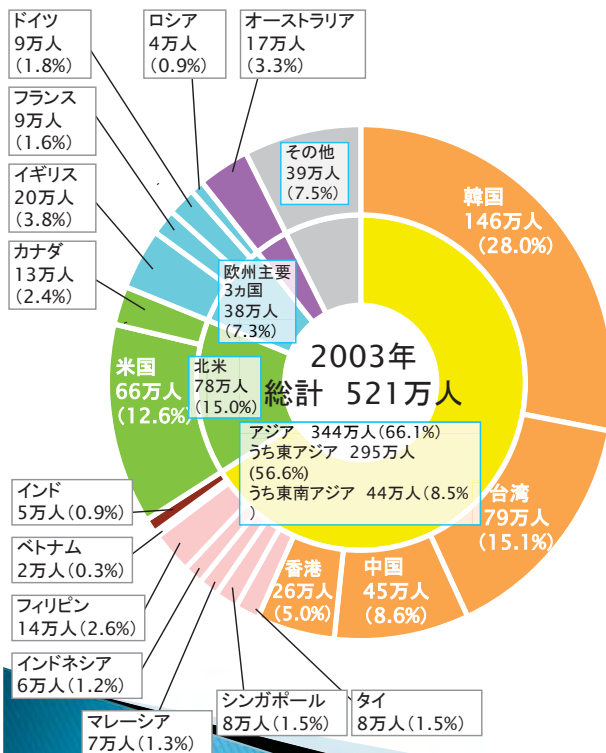
注4：本表で採用した数値は、日本、ロシア、韓国、ベトナム、台湾、豪州を除き、原則的に1泊以上した外国人訪問者数である。

注5：外国人訪問者数は、数値が追って新たに発表されることや、さかのぼって更新されることがあるため、数値の採用時期によって、その順位が変わり得る。

注6：外国人旅行者数は、各国・地域ごとに日本とは異なる統計基準により算出・公表されている場合があるため、これを比較する際には注意を要する。(例：外国籍乗員数(クルー数)について、日本の統計には含まれないが、フランス、スペイン、中国、韓国等の統計には含まれている。)

訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

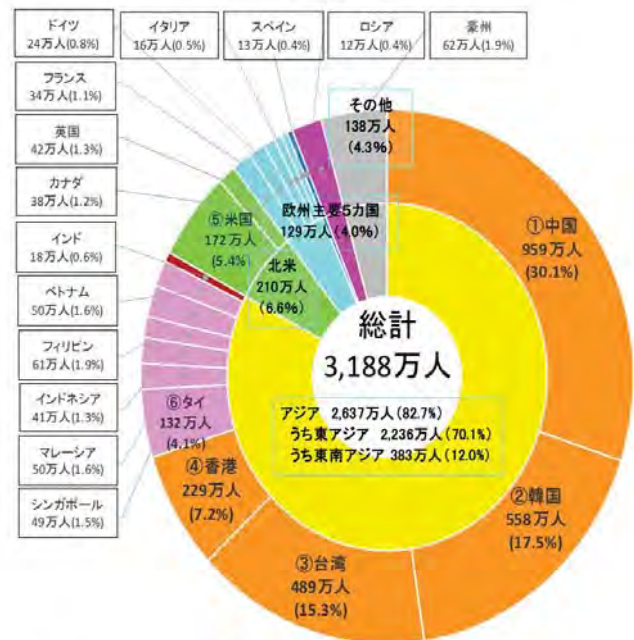
【2003年】521万人



【2019年】

3,188万人

(図表 I - 11) 訪日外国人旅行者の内訳 (2019年)

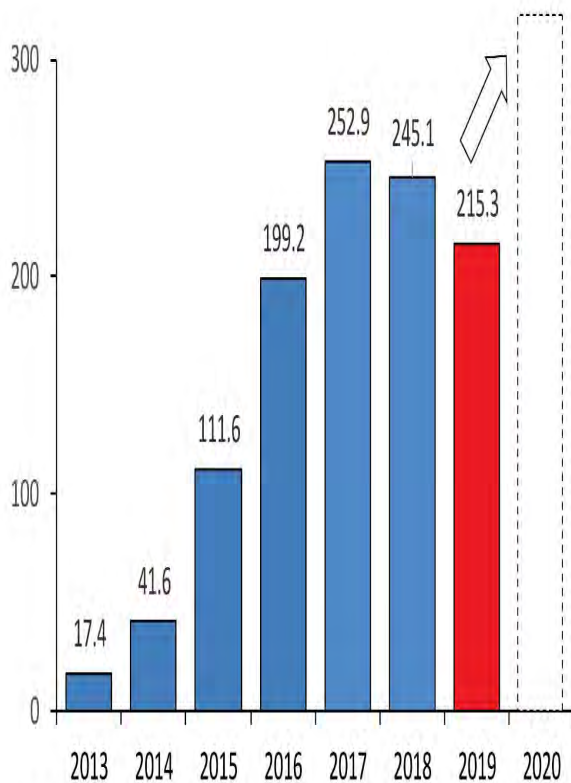


資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成

注1：() 内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア

注2：「その他」には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。

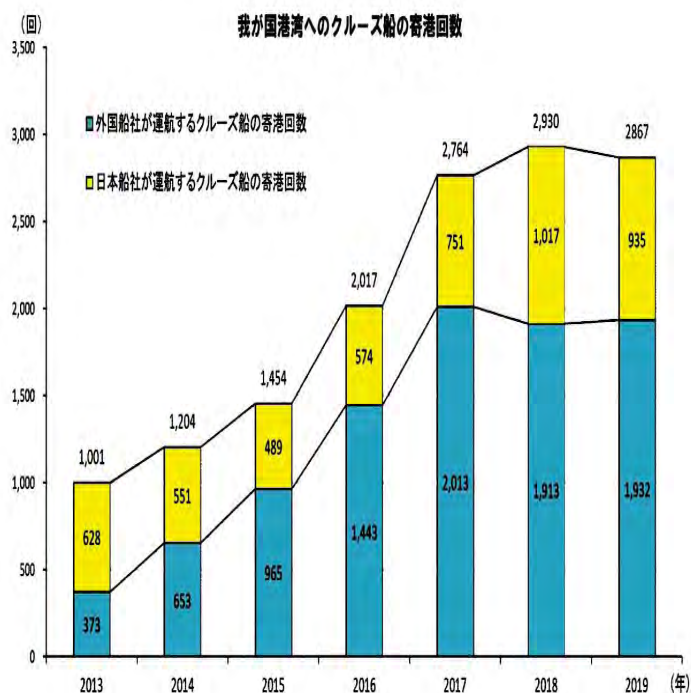
注3：数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。



※ 法務省出入国在留管理庁の集計による外国人入国者数で概数（乗員除く）。

※ 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、（各港で重複して計上するのではなく）1人の入国として計上している。

図表2 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数



※2019年値は、港湾管理者からの聞き取りによる速報値であり、今後変動する可能性がある。

（資料）国土交通省「クルーズレポート」2020年1月23日

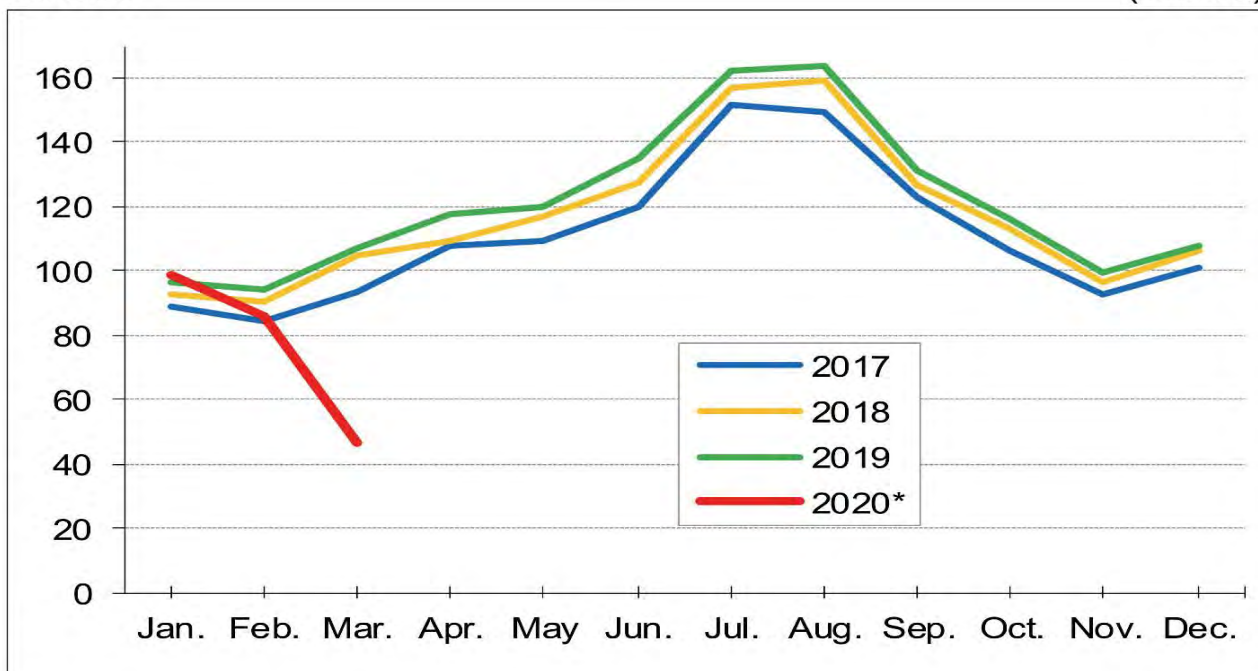
3. 新型コロナ大打撃の“観光立国ニッポン”

・「ウイズコロナ」と「ポストコロナ」&国内と国際

International Tourist Arrivals by month

World

(million)



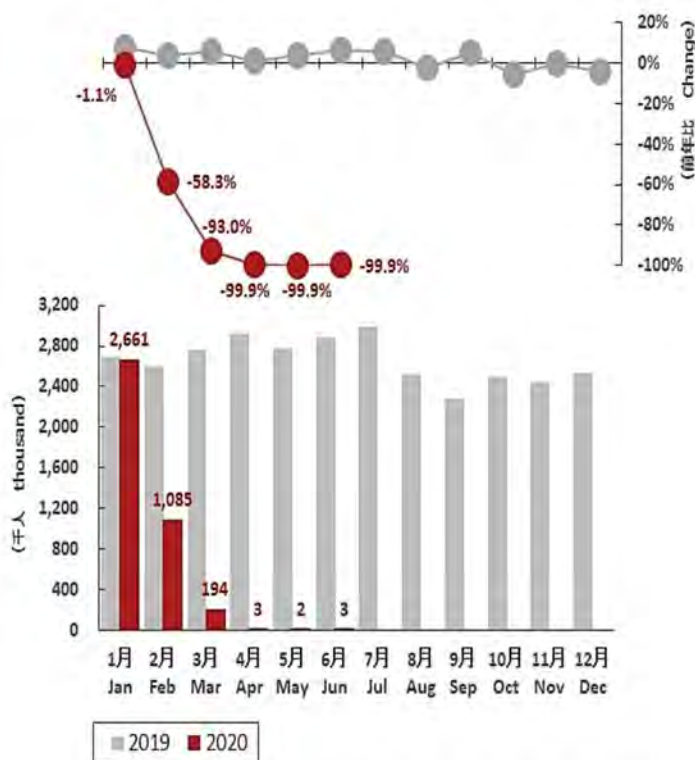
Source: World Tourism Organization (UNWTO) ©

訪日外国人数 2020年版

Visitor Arrivals to Japan in 2020

travel
voice

www.TravelVoice.jp



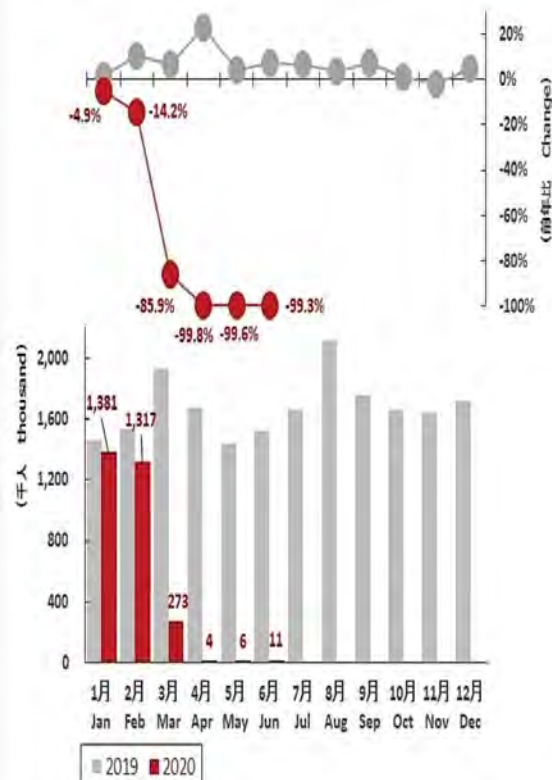
出典: 日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization

日本人出国者数 2020年版

Japanese Overseas Travelers in 2020

travel
voice

www.TravelVoice.jp

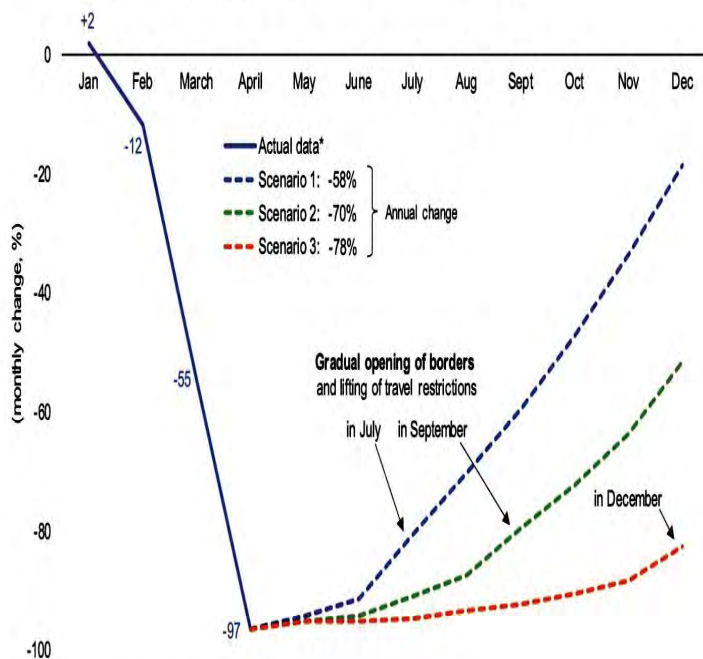


出典: 日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization

3. 新型コロナ大打撃の“観光立国ニッポン”

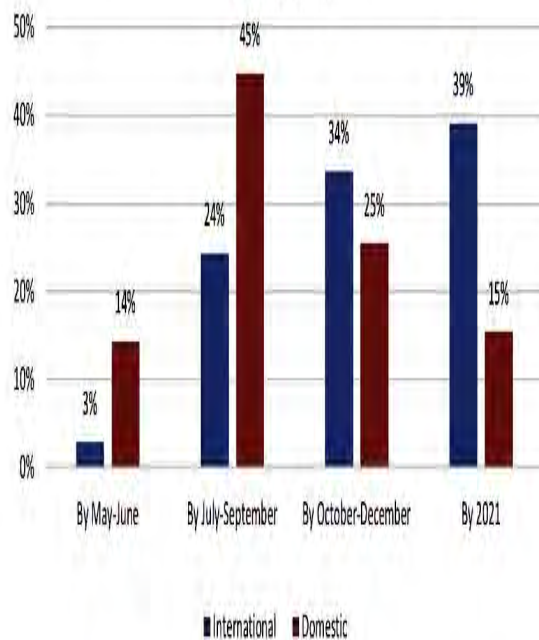
・「ウイズコロナ」と「ポストコロナ」&国内と国際 (UNWTO復活・予測)

International tourist arrivals in 2020: three scenarios (y-o-y monthly change, %)



* Actual data through April includes estimates for countries which have not yet reported data.
Source: UNWTO, June 2020

When do you expect tourism demand for your destination will start to recover?



3. 新型コロナ大打撃の“観光立国ニッポン”

・働き方改革でライフスタイル変化：休暇の変化 [資料：観光庁]
「デジタル化」「オンライン化」「リモートワーク」etc.

休暇の分散化

⇒ 企業への働きかけと国民への呼びかけ・周知が必要

POSITIVE OFF



手段

休暇の分散化を進めるため新しい旅行スタイルを普及

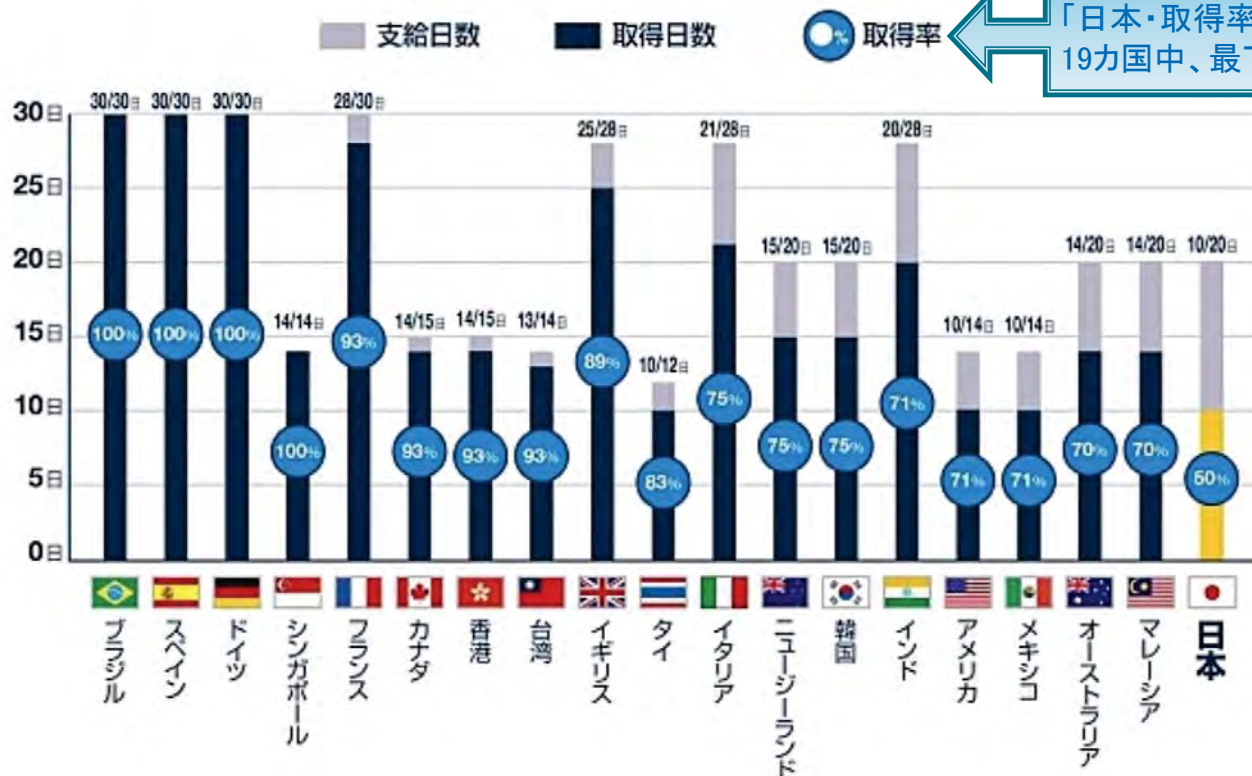
⇒ ワークेशन、プレジャー及びサテライトオフィス需要に対応した環境整備、滞在型旅行
実現のためのコンテンツ整備

注：WORKCATION/ BUSINESS + LEISURE

- * ワークेशन ... テレワークを活用し、リゾート地・温泉地等で余暇を楽しみつつ仕事を行う。
- * プレジャー ... 出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむ。
- * サテライトオフィス ... 企業または団体の本拠地から離れた所に設置されたオフィス。
- * 滞在型旅行 ... 平日を含む一定期間、好きなところに滞在して、地域の自然、食事、文化を体験し、学び、楽しむ。



世界各国の有給休暇取得状況



「日本・取得率」
19カ国中、最下位

3. 新型コロナ大打撃の“観光立国ニッポン”

・「旅行」変化:「団体⇒FIT(個人)」「都会派⇒自然・地域・滞在派」

[The New Normal: Tourism]

●「団体旅行」も変化。ビジネスの大型会議、学校の大型修学旅行が減少

⇒「FIT化（個人旅行化）」

●「都会派」⇒「自然・地域・滞在派」

「エコツーリズム」

「グリーンツーリズム」

「ファームステイ」

「ロングステイ」

「（地産地消型）フードツーリズム」

●「単なる観光」

⇒SITスペシャルインタレスト・ツアー

（“コト消費型”の「体験型観光」）

Important notice for preventing COVID-19 outbreaks.

Avoid the “Three Cs”!

1. Closed spaces with poor ventilation.

2. Crowded places with many people nearby.

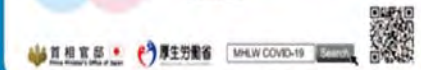
3. Close-contact settings such as close-range conversations.



One of the key measures against COVID-19 is to prevent occurrence of clusters. Keep these “Three Cs” from overlapping in daily life.

The risk of occurrence of clusters is particularly high when the “Three Cs” overlap!

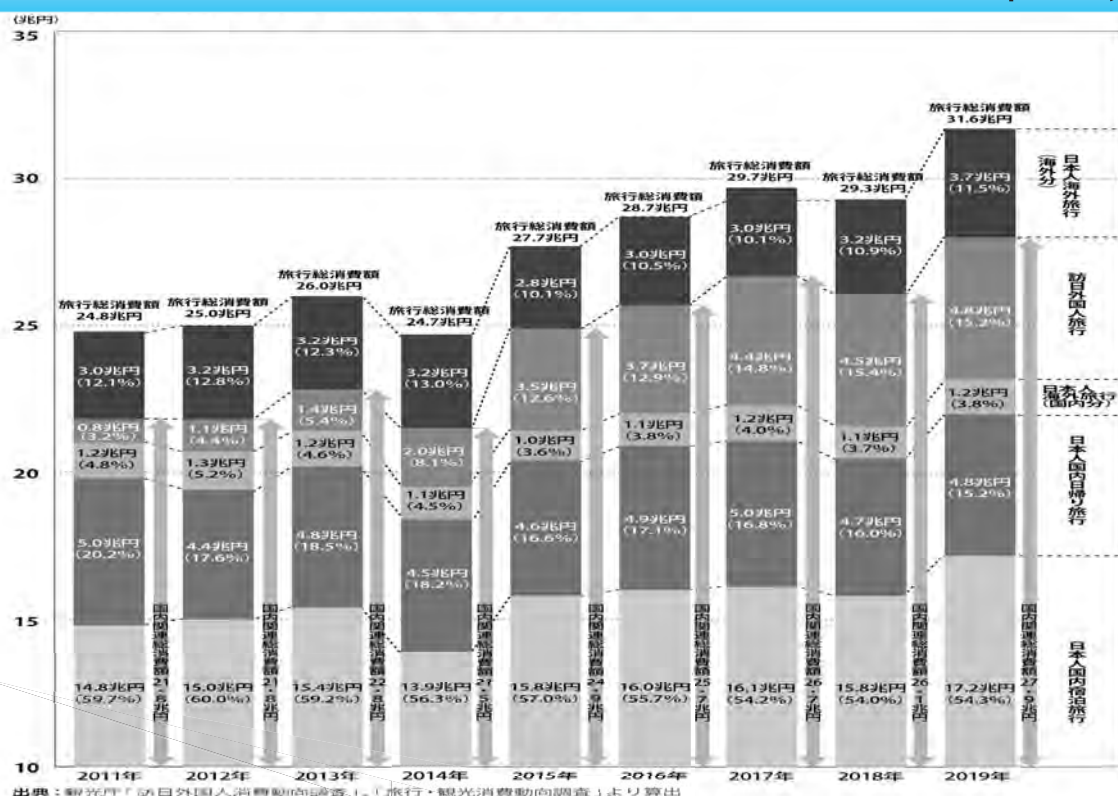
In addition to the “Three Cs,” items used by multiple people should be cleaned with disinfectant.



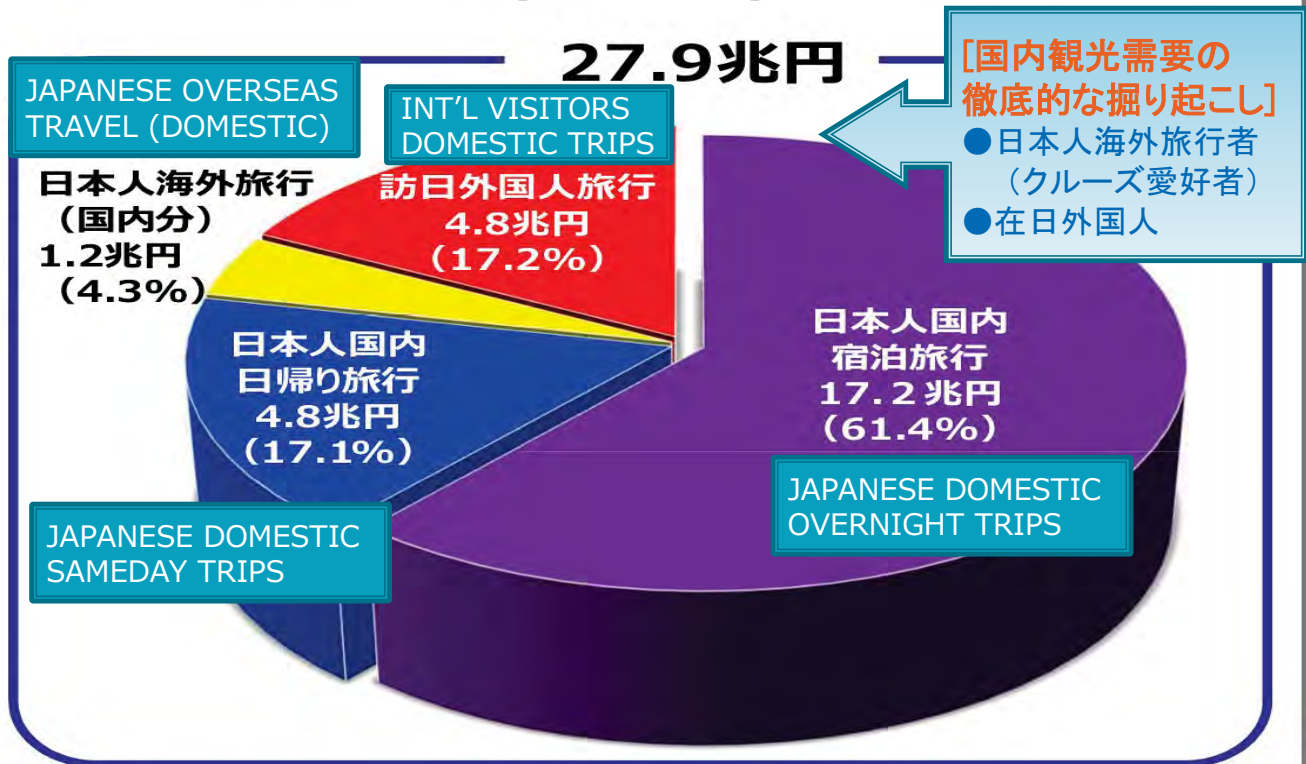
4. 復活シナリオ

1)「観光復活ステージ」(都道府県)内⇒隣県など地域内

⇒日本全域



(図表 I -31) 日本国内における旅行消費額
[観光白書2020]



資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」より作成

8

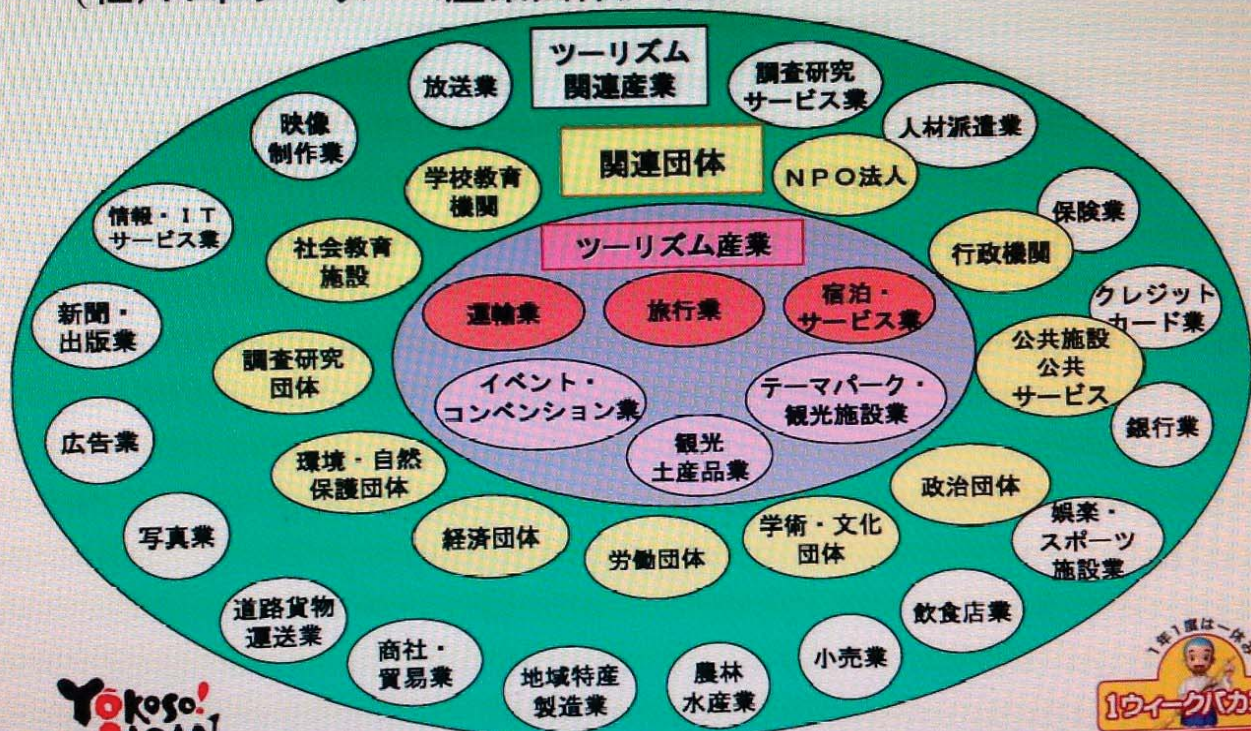
・「GO TO トラベル」キャンペーンの効用

ツーリズム産業の構成

5

(社)日本ツーリズム産業団体連合会

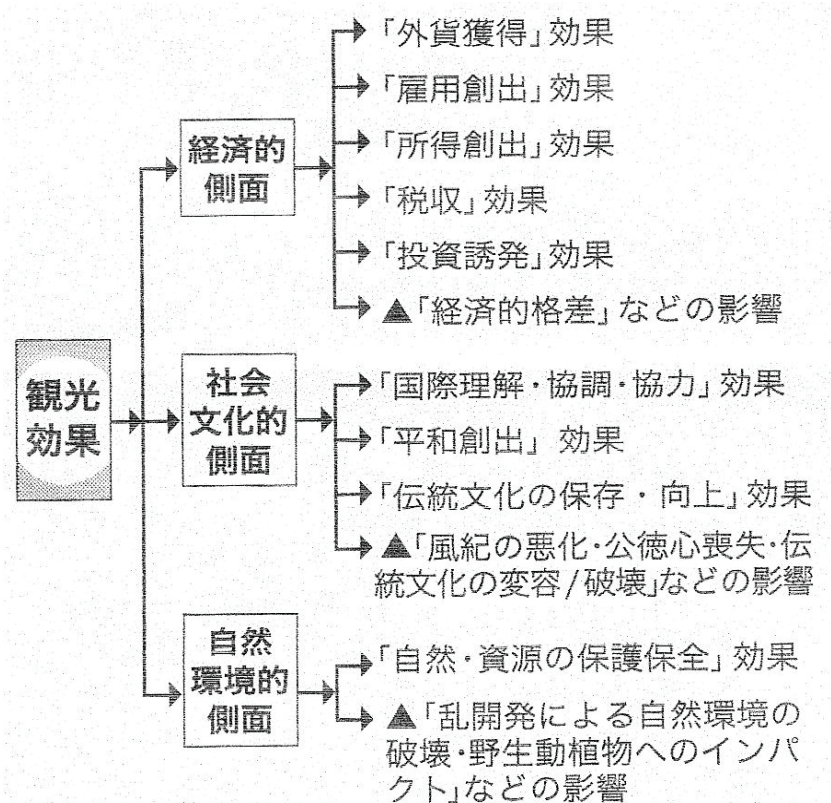
Tourism Industry Association of Japan



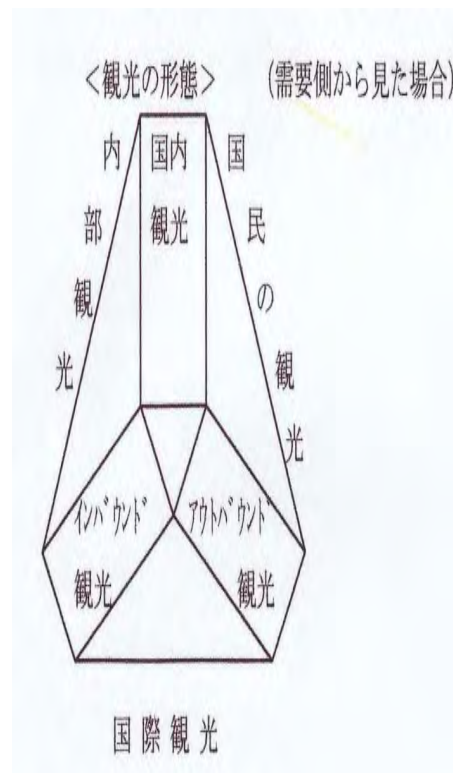
資料：日本ツーリズム産業団体連合会「数字が語るツーリズム」&「観光立国ニッポンのための観光学入門-実践編-」(NCコミュニケーション)



＜おさらい＞ 国際観光の効果&形態



注…▲はマイナスの影響



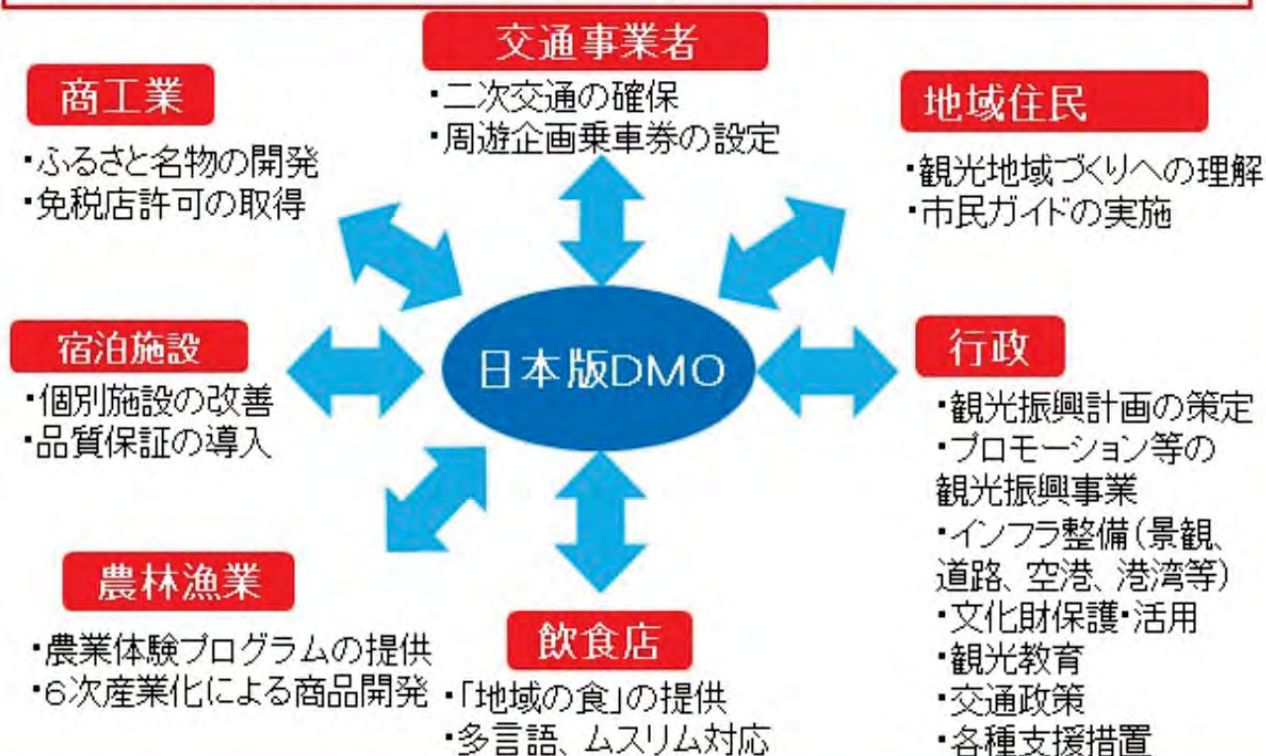
資料:UNWTO世界觀光機關

19

- ・地域観光振興⇒DMO(“稼ぐ力を持つ”観光地経営組織)

「日本版DMO (Destination Marketing/Management Organization)」

内外の人材やノウハウを取り込みつつ、多様な関係者と連携



4.復活シナリオ

2)「国際観光復活ステージ」インバウンド&日本人海外旅行

「国際的回復は急がず注意深く！」

「ビジネス要人」⇒「実習生・留学生」⇒「観光客」

往来には陰性証明やPCRなどの検査や入国者隔離など、
周到な準備が重要。

●「緊急事態宣言」解除後、「夏頃に、オーストラリア、
ニュージーランド、タイ、ベトナムに」の動き⇒「ベトナム」

●「制限緩和で難問の1つは、中国や韓国の観光客受入れ」
⇒「急がず注意深く！そして、従来のマイナス面の修正を」

- ・「訪日客シェアで大きな偏りの修正」
- ・「より健全な観光ビジネス・モデル”作りのため」
- ・“楽しい旅”とは＝「偏見のない好意的な雰囲気」

21

4.復活シナリオ

3) ウイズコロナ期の「再起策あれこれ」

提案1. 「魅力的な新企画で再起を！」

「オンラインツアー」

- 京都の「二条城、史上初！非公開エリアに徹底潜入
オンラインツアー」：参加料¥2,500
- 箱根湯本「芸者とオンライン飲み会」：参加料¥1,000)
- 琴平オンラインバスツアー「石見神楽鑑賞と現地旅行会社
がご案内する地域の魅力」：旅先料理付き¥4,980円
- 北海道釧路「地域応援オンラインツアー」：
地域物産付き¥5,000～¥10,000)
- （海外編）「行った気になる観光セミナー
～バチカン美術館をオンライン体験！」：参加料¥1,000

22

提案2. 「今こそ、地域や異業種の連携を!」

●DMO「摩周・川湯・屈斜路温泉」→

「温泉＋フードツーリズム」「湯巡(ゆめ)グルメクーポン」。

●「民泊連合＋商店街(宿＋朝食＋土産)」連携(大阪天神橋筋)

●「クルーズ」(全国的連携の必要性)

[官]

観光政策・推進・環境整備
・国民意識の醸成

- 政府・国交省・観光庁
- 地方自治体
(都道府県・市町村)

[産]

観光・旅行サービスの提供

- 旅行会社 ●ホテル/旅館/民泊
- 航空会社/空港 ●鉄道
- クルーズ/フェリー ●バス
- レストラン
- エンターテインメント
(テーマパークetc.)
- 小売業(土産店・免税店etc.)

[学]

観光(学)研究・人材育成

- 大学・大学院・研究所
- 高校・専門学校etc.

[国民]

地域への目覚め・ボランティア

- NPOの観光地域づくり
- ボランティア・ガイド

提案3. 「“健全な”観光ビジネス・モデル作りを!」

●「観光リーケージ対策」(ZERO-DOLLAR TOURISM)

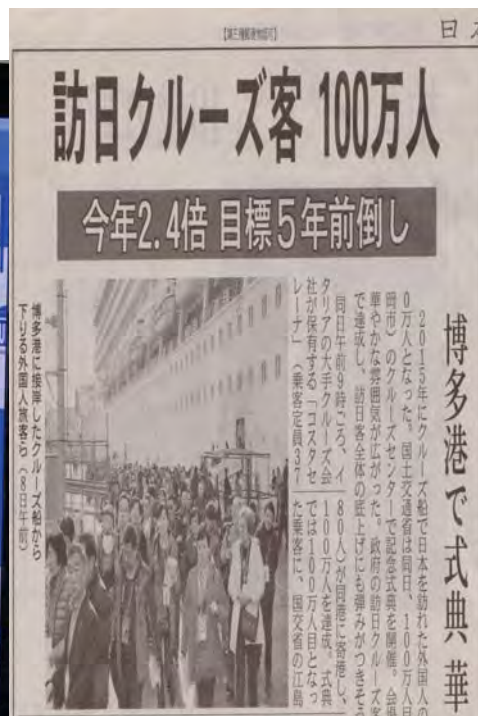
「観光収入が地元還元されず、外部に漏出する現象」
(違法な「通訳ガイド」・「白タク」・「観光バス」・「民泊」・
「旅行手配」etc.)

[例: “日帰り”クルーズ]

ちょっと前!

日本経済新聞(2015年12月8日)

NHKニュース (2020.8.20)



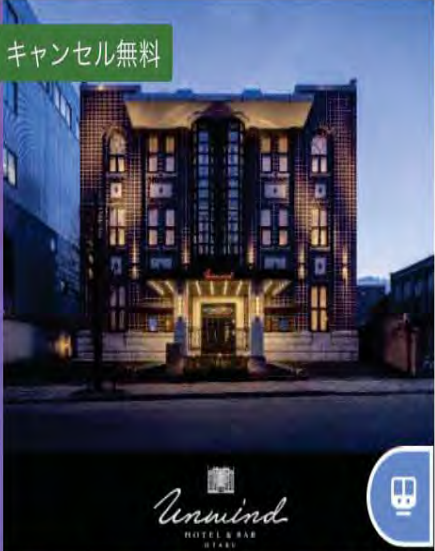
提案3.「“健全な”観光ビジネス・モデル作りを！」

●外資系宿泊予約サイトの進出が盛ん。

しかし、従来にないビジネス慣習の跋扈
(例)直前の「無断取消し」や「過大割引」

[ある外資系ホテル予約サイト
(2020.8.20)]

キャンセル無料



Unwind
HOTEL & BAR
OTARU

全て見る

アゴダ®あんしんキャンセル 新装!

アンwind ホテル & バー 小樽
(Unwind Hotel & Bar Otaru)

★★★★☆ 小樽, 小樽 - 地図で場所を確認

立地条件: 最高! 市内中心地

朝食 キャンセル無料 +2

好立地&リーズナブル!

注目 10時間前に予約が入りました

クレジットカード不要

実際に宿泊した95%のユーザーがおすすめしています

GoToトラベル GoToトラベル -

2,439 ¥ OFF! ①

最高! 9.0

474 件のクチコミ

清潔さ『9.5』

GoLocalプラン

今日の割引 77%OFF

直前割引!

▼1泊の最安値▼

~~30,866~~

¥4,529

キャンセル無料

●優秀な日系企業が“自国のインバウンド観光”にもっと参入する。 (例)旅行会社etc.

「(日系)旅行会社の営業状況」

<主要旅行業者(2019年度)・観光庁発表2020.05.22より>

(2019年4月分～2020年3月分)

業務区分	取扱額シェア(%)
海外旅行	35.2
外国人旅行 (インバウンド)	4.7
国内旅行	60.1
総取扱額	100.0

区分	取扱額(千円)	前年度取扱額(千円)	前年度比(%)
海外旅行	1,510,888,910	1,679,499,664	90.0
外国人旅行(※)	199,619,980	190,269,802	104.9
国内旅行	2,580,792,670	2,814,421,014	91.7
合計	4,291,301,560	4,684,190,479	91.6

※日本の旅行会社によるインバウンド旅行の取扱いを指します。

「日系旅行会社は、
インバウンドをほとんど、
取り扱っていない」

提案4. 「“官”支援策で再起の糸口に！」

観光先進国オーストラリア⇒「EMDG(Export Market Developments Grants)
「インバウンド経費の一部を政府が出す支援策」

●＜日本：“官”支援策＞

例1)国土交通省「海洋周辺地域における訪日観光の充実・開拓及び魅力向上事業」(WIFI・多言語対応設備、ツアー造成などの支援策)(2020年4月)

例2)観光庁「新生活様式に沿う着地整備促進」(自治体DMOの事業公募～イベント実施経費やコンテンツ企画開発費などを助成)(2020年7月)

例3)環境省「低感染リスクの国立公園の観光事業を支援する政策」(2020年5月)

例4)東京都「VRなど新技術活用ツアー造成に助成金」(アクセシブル・ツーリズム～障害者や高齢者などの都内観光支援策)(2020年7月)

提案5. 「観光プロ」の人材養成

●地域を知るマーケティングに秀でた「観光プロ」

●日本に関心ある「外国人(含む・留学生)」

[公開済み・オンラインセミナー]

例:「今しなければならないこと～withコロナ時代の観光人材育成を考える」

例:「withコロナのデスティネーションマネジメント～フロリダの事例から学ぶ、地域の観光経営に必要な5つの戦略～」

例:「ツーリズムプロデューサー養成塾」

27

国・地域	出国者数(千人)	伸び率(%)	人口(千人)	出国率(%)
日本	18,954	6.0	126,494	15.0
韓国	26,928	8.4	51,663	52.1
中国	*143,035	*5.8	1,395,380	*10.3
台湾	16,645	6.3	23,603	70.5
香港	12,681	4.6	7,483	169.5
タイ	*8,963	*9.3	67,793	*13.0
シンガポール	10,378	4.9	5,639	184.0
インドネシア	*8,856	*6.2	264,162	*3.4
インド	*23,943	*9.5	1,334,221	*1.8
オーストラリア	11,061	5.0	25,168	43.9
米国	93,038	6.3	327,352	28.4
カナダ	33,440	2.2	36,994	90.4
英国	71,733	-1.4	66,466	107.9
フランス	*29,055	*9.7	64,725	*44.8
ドイツ	*92,402	*1.6	82,886	*111.7
イタリア	*31,805	*9.4	60,484	*52.5
スペイン	*17,031	*10.6	46,449	*36.8
ロシア	41,964	5.9	143,965	29.1

(注) 1. 本表の数値は、2019年8月時点の暫定値。

2. *印の出国者数・伸び率・出国率については、2017年の数値。

3. 韓国の出国者数は、日帰り客を含み、乗務員を除く。

4. 中国の出国者数は、日帰り客を除き、香港・マカオ行き、乗務員を含む。

5. 台湾、タイ、インドネシア、インド、米国、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、スペインの出国者数は、日帰り客を除く。

6. 香港の出国者数は、日帰り客を含む空港出国者数。

7. シンガポールの出国者数は、日帰り客、陸路でのマレーシア行きを除く。※陸路でのマレーシア行きを含んだシンガポール人出国者数は存在しない。

8. オーストラリアの出国者数は、1年未満の外国旅行をして帰国した旅行者を含む。

9. 英国、ロシアの出国者数は、日帰り客を含む。

作成: 日本政府観光局(UNTO)

出典: [出国者数] 国連世界観光機関(UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

[人口] 国際通貨基金(IMF)

5. 結び

“健全な観光立国”

ツーウェイ・ツーリズム

(双方向交流)

日本人出国率15.0%
インバウンド
+
(日本人)海外旅行

ご清聴をありがとうございました。

E-mail: masarusuzuki0308@gmail.com

http://tourism-nippon.com

「自己紹介」

1967年4月 **JTB勤務(33年間)**

- 7年: 京都各支店勤務(国内・外人・海外)
- 9年: 海外支店勤務(シドニー・北京)
- 2年: 外人旅行事業部(GMT)
- 15年: 東京(ルック海外部ーJTBワールド)

2000年3月

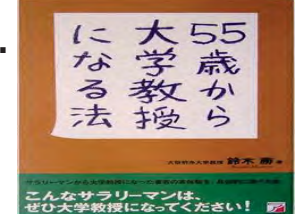
2000年4月: **大阪観光大&桜美林大 勤務(15年) 教授**

<専門科目>

- 旅行業経営論 ●観光マーケティング論 ●観光交通論etc.

2015年3月 退職(70歳定年)

2015年4月 共栄大学国際経営学部 客員教授(ホスピタリティ論)
ー2017年3月



- [学術・社会活動]
- UNWTO国連・世界観光機関(観光専門家委員 Tourism Expert)
 - NPO釧路湿原美術館(副理事長)
 - NPO北東アジア輸送回廊ネットワーク(NPO理事)
 - 海外「観光活性化」講義(外務省・JICA:アセアン/中央アジア/ロシア)

